広報わたらい

No. ２０　昭和34年12月10日発行

発行所　三重県度会郡度会村役場
TEL 内城田１・１４番
編集　総務係
印刷所　文化印刷有限会社

度会村の人口
11月1日現在（戸籍係調べ）
人口　10.054人
世帯　1.826世帯
出生　17人　婚姻　10組
死亡　10人　離婚　ナシ
（10月中の異動）

第十一回人権週間を迎えて

＝身近かな人間問題をよく考えよう＝
多い人間性の無視や軽視

ことしも十二月が、日本国民の身についてきたを時くしておりますが、なんかれ月四日から十日までにその原因があり、人間本来ならないものだろうか、子どもまで二人権週に与えられた種々の権利を無視して道連れにしなくてもらさうな事とりあげれば限りなく、そしてこれらが多くのこの間として、全国的に影響な人ものを、と思わずにはいられません。

そこで基本的人権というとの独立の人格を持った人間同士であるべき問題の重要性を前提とするものの考え方ですが、これは各人それぞれ人間性の無視や軽視が行われ、人権週間が行われるることがはっきり意識されていないようなことがあります。

人権週間とは、人権問題の基本的人権の尊重を提唱、そもそも日本のようにだれに受入れ難い勢力で人間性の無視、軽視や人権の侵害で多くの場合、無視や偏見や言葉遣いの無意識に行われているようなことがあります。

このことがいかに一人一人の所へ、謙虚に御傾聴下さい。

人間性の発展をさまたげているかとゆうことに目覚めたものです。

★その他、いろいろな部落の問題や人権にからんだ問題も私たちの日常生活をかきみだしている非常に多いことに気がつきます。

以上のように、いろいろの課題が、三重県下の市町村には当五十之の方が人権擁護委員に法務大臣より委嘱され、法務局とも協同の自覚や期待が寄せられています。

人権を侵されたまたは侵されるおそれのある方は、最寄りの人権擁護委員（度会村では伊藤寛之氏）もしくは法務局、その支局、出張所に常設されている人権相談所に御相談下さい。

★一見平和にみえる家庭生活でもたく間にひびがついてゆくのが普通です。ワサになり、そのワサはまたたく間にひびがついてゆくのが普通です。このように解決きな、あるいは無責任なワサは、時として大変人を傷つけることがあり、あるいは無責任なワサは、時として大変人を傷つけることがあり、ある庭の中に子どもの純真さをうばうことはないことにも思せのワサつてゆく恐ろしさを強い雰囲気が多くあります。

このことは、わが国における古くからの根強い封建性と、敗戦に伴う社会の変革の中に、人間性の無視や軽視がいたるところに目につきます。

★親子心中の記事は、私たちの心を暗くしておりますが、なんかまたこの原因があり、人間本来ならないものだろうか、子どもまで道連れにしなくてもらさうな事とりあげれば限りなく、そしてこれらが多くの場合、無視や偏見や言葉遣いの無意識に行われているようなことがあります。

★嫁かが離婚に関してゆかれたり分とか勢力とかに今までの因習から脱されるもの職種の員用などのではありません。しかしながら、人権を十分認めることをほんとに思われ、新聞、私たちを目が覚に人間性を尊重し人権をうの親の愛情といえましょう。ラジオなどの報自他の人権にめざめて明朗で平和な社会を作るまでには、幾多の障害と困難を予想されますが、毎年呼びかたりすると、すべに向かう種の事を大きく行われる人権週間を一つの教育としてとりあげ、そのウワサはまたたく間にひろがつてゆくのが普通です。

★嫁かが離婚に関してゆかれたり分とか勢力とかに今までの因習から脱されるもの職種の員用などのではありません。しかしながら、人権を十分認めることをほんとに思われ、新聞、私たちを目が覚に人間性を尊重し人権をうの親の愛情といえましょう。ラジオなどの報自他の人権にめざめて明朗で平和な社会を作るまでには、幾多の障害と困難を予想されますが、毎年呼びかたりすると、すべに向かう種の事を大きく行われる人権週間を一つの教育としてとりあげ、そのウワサはまたたく間にひろがつてゆくのが普通です。

★一見平和にみえる家庭生活でもたく間にひびがついてゆくのが普通です。このように解決きな、あるいは無責任なワサは、時として大変人を傷つけることがあり、ある庭の中に子どもの純真さをうばうことはないことにも思せのワサつてゆく恐ろしさを強い雰囲気が多くあります。

このことは、わが国における古くからの根強い封建性と、敗戦に伴う社会の変革の中に、人間性の無視や軽視がいたるところに目につきます。

★親子心中の記事は、私たちの心を暗くしておりますが、なんかまたこの原因があり、人間本来ならないものだろうか、子どもまで道連れにしなくてもらさうな事とりあげれば限りなく、そしてこれらが多くの場合、無視や偏見や言葉遣いの無意識に行われているようなことがあります

火災シーズンの心得

＝わざわいを重ねないために＝

地震、かみなり、火事、おおかを火の災のないところに注意をお願いしたいものです。

◆出かける時と寝る時

石油コンロ、プロパンガスなどは、正しい使い方をしましょう。

◆山火事はほとんどたき火の不始末から

山火事は、ほとんどが草や一服のたきのこの火の不始末から大事を引き起こしています。山でたき火をする場合は、まわりをきれいにさせてからにマッチをおいたり、したき火の不始末を起こさないよう注意しましょう。

◆山かけの時と寝る時

ふかまとの風呂場、電熱器などたつ火鉢、こんろ、火消ツボ、ガス、ますと、こんろ、電熱器等（電熱器、取火など、大丈夫と思ってもうの不用、電熱器、電灯、モーター、スイッチなど）たばこ、エンドツ、火なかり、たき火、とり灰こんろ、かまどなどで、特に近くに位が多いものです。子供の原のとまるとこるとこれらの場所の火先者になるのが目立って多くなりました。

◆電気設備の改善

目に見えにくい天井裏や壁の中などに配線されるのだけに、不良部分があると、火事を起こすおそれがあります。そこでしろうと手事はけるる業物ですが、信用のある工務店によく料金を使った解をしてもらうことです。

◆清潔と整頓

家のまわりや畳の中が乱雑ですと、とかく火についても無関心であったり、見つけにくいのでこ事に到ることが多いようです。

また自然発火物（石油、ガソリン、ペンジン油など）の置き場所下で日陰にあるゆる交通事故が

注意しましょう
―年末に多い交通事故―

危険な出り角や学校の近くなど発生しており、これをふだんの月を想定する新らしい「交通標識」がとりつけられていますが、特にこのような場所では通行や車の運転に注意しましょう。

また、これから年末にかけて交通事故が多くなります。去年も十一月の末から十二月にかけて、県で事故防止につとめましょう。

年間でもこのあるまり、無理なにならべますと、三千パーセントの増加ということです。

◆清潔と整頓

家のまわりや畳の中が乱雑ですと、とかく火についても無関心であったり、見つけにくいのでこ事に到ることが多いようです。

また自然発火物（石油、ガソリン、ペンジン油など）の置き場所下で日陰にあるゆる交通事故が

農作物の管理

（12月）

◆麥

年内にやりたい管理

麦は寒さが来るまでに適切な管理をして、根の張りをよくしておくことが大切です。ことしは、秋の取り入れが早く終ったので、10月中に麦まきにかかった所もあるでしょう。

このような早まき麦や春まき型品種など早い目にまいたものは、早く中耕と土入をして雑草を防いで下さい。また麦が徒長して寒害をうけやすいから本葉二、三枚になったら麦踏みをはじめることが大切です。

普通11月まきのものでも一カ月余りすぎると耕間が固くなり、雑草が多くなりますから、中耕して根の伸長をはかり、土がよく乾いたら土入と麦踏を行って下さい。麦踏は、麦の管理でも一番大切な作業で、麦の徒長を防ぎ早春に耐える力が出来て分けつも多くなるので増収には施肥以上に必要な仕事です。1月末までに三回位は行いたいものです。

また早まきしたものでは、年内に追肥をします。普通11月まきのものでも元肥に燐酸加里を施してないものには、1日も早く施して下さい。ことしは種直後に除草剤を散布した農家も多かったようですが、効果が少ないといって、2回も散布することは見合せて下さい。は種時に散布できなかったので、生育期に散布しようとする場合は、多少薬害も誤われますが本葉1、2枚のとき、中耕と土入れをしてから、散布して下さい。

◆菜　種

菜種も初期の手入が大切

早く移植したものや早く直まきしたものでは、中耕、追肥、土寄をする時です。窒素肥料ばかりでなく燐酸加里を施して下さい。直まきしたものは、除草に注意し厚まき所は、間引りすることも必要で3、3平方メートル当（1坪）150本程度に間引きします。直まき栽培では、雑草を防ぐために除草剤シマジンを散布しますが生育期に散布する場合は、本葉2、3枚の頃10アール当80―100㌘を水72―100㍑（4―5斗）に溶かして散布します。直まき栽培は、移植栽培にくらべ春先まで生育が劣るが、春になってからよくなりますから肥培管理に充分注意して下さい。

◆蔬　菜

玉ネギと中生甘藍の定植は今月はじめまでに終ります。水田玉葱は、定植後10日位にクロロIPCを10アール当200㌘を水72―100㍑に溶かし、全面散布して雑草を防ぎます。

白菜の結束

今月以降に収穫予定の白菜は、アブラムシを除いて、外葉を結束して防寒します。

西瓜の肥土

今から準備して下さい。10アール当田土150㌔㌘鶏糞40㌔㌘堆厩肥120㌔㌘石灰8㌔㌘を積み切返しの時下肥を入れてやります。

役場休庁のお知らせ

御用納めは十二月二十八日

役場の「御用納め」は十二月二十八日ですが、休み中でも緊急の御用は、日、祭日を除いて毎日執務しますから、御用のおけは、十二月二十八日までに御用納めを済ませるようお願いいたします。

私の作文

雑　感

小川郷中学校
三年　中西　鈴子

山や野は花、花、花でうすめられ、川面にキラキラとやわらかい日光がきらめいていたこの四月、そうした私はあの時、ああもしようこうもしようと大きな希望にあふれ、こうもしようと大きな希望に胸をふくらませて、三年生の教室へ入ったのだった。

だが、すこしまった半年間をふりかえってみて、このすばらしく年生らしい日々であったか、と反省する時、ただ何かなんに、ぼんやりすごしてしまったという感じが、ぬけたらない。

授業の例をとってみても、先生が見えるまでおしゃべりしていたり、授業中にぼんやり外を眺めていた事の方が多かったのではなかろうか。自分に与えられた職責を無駄もその一人ですしかし、そおばあさん、おじいさん、おかあさんの貴しい春の裏にあって政治のからくりをうたのです。

ところが春

今はどうなっているか

世の中がつかっ返り食糧不足から、都会人は、お百姓さんと呼ばれ、やっぱり引いの事ながあったりして一時百姓ブーム（にわか景気）でか、農が流行出盛つて来た今日では、まこしても百姓は不遇にされ政治家がかつて人を安く使う為には、安い食糧を食べさせなくてはならないとの事なんか。ですから国の力を高めなければいけないから政治家の人達のあるべきの為にはいろいろ考えて政策を取って来たのであります。このやり方が胡散臣民ではないでしょうか。

ます。これが我国のおじいさん、おばあさんの貴しい春の裏にあって政治のからくりをうたのです。

ところが春

今はどうなっているか

世の中がつかっ返り食糧不足から、都会人は、お百姓さんと呼ばれ、やっぱり引いの事ながあったりして一時百姓ブーム（にわか景気）でか、農が流行出盛つて来た今日では、まこしても百姓は不遇にされ政治家がかつて人を安く使う為には、安い食糧を食べさせなくてはならないとの事なんか。ですから国の力を高めなければいけないから政治家の人達のあるべきの為にはいろいろ考えて政策を取って来たのであります。このやり方が胡散臣民ではないでしょうか。

ます。これが我国のおじいさん、おばあさんの貴しい春の裏にあって政治のからくりをうたのです。

ところが春

**今はどうなっている